

<株式会社エフエム東京 第324回放送番組審議会議事録>

1. 開催年月日：平成17年9月6日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）

◇出席予定委員（6名）

子 安 美知子	委員長		
青 池 慎 一	副委員長	内 木 文 英	委員
横 森 美奈子	委員	香 山 リ カ	委員
渡 辺 貞 夫	委員		

4. 番組試聴

【番組名】 「Honda SWEET MISSION」

【放送日時】 2005年7月26日 8：10～8：20

【番組概要】

架空の国際OL探偵社「フラワー・カンパニー」に勤務する3人の探偵（パンツェッタ・ジローラモ／フローラン・ダバディ／セイン・カミュ）が、週替わりで世界の都市を調査する、という設定の番組です。

現地在住の女性エージェントからの取材レポートを通じて、世界各都市で暮らすTOKYO FMの主な聴取者層であるF1（20～34歳女性）層の若い女性、特にOL層の生活や恋愛、楽しみや仕事などを明らかにしていく内容となっており、世界各国における生活習慣や思考・仕事の違いなどを楽しむことが出来ることが特徴です。

ポッドキャスト配信される「Honda SWEET MISSION」土曜日版には、FM放送には登場しない「フラワー・カンパニー」の女性秘書も登場する演出を施すなど、平日の番組と連動しながら、ポッドキャスト単体でも楽しめる内容となっています。

<試聴時間：約15分（ポッドキャスト配信版含む）>

【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側説明）

- 外国で暮らしている女性は自分のチョイスに自信があり、しっかり自己主張する方も多いと思う。日本で聴いている方に、「自分の生活はつまらないわ」と生き苦しさを感じさせないようにして頂きたい。また、短い時間の番組なので、外国に対する間違った固定観念、イメージを与えないように気をつけて頂きたい。ポッドキャスティングに関しては、今日の試聴では普段の放送との違いがあまり無いように思った。文字情報や、ダウンロードして好きな時間に聴ける、という特性を活かす工夫をして頂き、普段の放送とは違う特色を出して頂きたいと思った。
- 6月度聴取率調査において数字が落ちた原因は？
- リーチはキープしているが、一人ひとりの番組聴取時間が減ったことが原因と分析している。今後は番組を長時間聴いてもらえる構成及び演出に重点的に取り組んでいく。
- オンエアの時間は？
- ワイド番組「6 Sense」のコーナー番組として、月～金曜の毎朝8：10に放送している10分番組。
- 良い意味でTOKYO FMらしくなくて新鮮で良かった。TOKYO FMは良い意味でドメスティックであり、あまり外人が出演しているイメージが無く、たまに出ているとちょっと違和感を覚えることがあったが、今回の番組は良い意味で新鮮味があった。OLをターゲットにしているという部分でも、おしゃれな女性雑誌の情報ページのような作りになっており、一般的に女性の方が外国への興味が強いということもあり、楽しめる内容だったと思う。TOKYO FMのカラーや質感が、いい意味で無い番組で、好感を持って聴いた。
- ラジオの本業の枠が広がったように感じる。画面を見たり、クリックをしたり、人間はそんなに集中できないと思う。このやり方(ポッドキャスト・WEB連動など)については、個人的に少し無駄なことをやっていると感じた。番組自体の趣旨は面白いと思った。しかし、今回試聴したものについては、話題のつまみ方が甘く、つまらない話ばかりだと感じた。もう少し勉強になることを教えてくれても良いと思う。街の雰囲気や風景が見えてこない。取材が大雑把

で、面白がって番組を作っていないような印象を受ける。番組としての趣旨は面白いので、もう少しちゃんとした取材をして欲しいと思った。

- 世代的に私が聴くような番組じゃないと自覚しながら聴いた。番組の中では私の興味のあることは出てこなかったが、私の興味のあることばかりやっても、若い人は聴かないのだろうとも思った。しかし、個人的に芝居に興味があり、よく観ているが、若い人たちが喜ぶものの中に、私が心惹かれるものもある。どこかに何か、みんなが共通して惹かれるものはあるのだろうと思う。それはやはり、常識を突き抜けたものであると思う。そういう意味では、今回の番組は「常識」だという気がする。

- あるソフトが特定のチャンネルでのみ流れる時代では無くなったと思う。また、その媒体でこそ生きてくるソフトというのも無くなってきているのかもしれない。音だけで表現する世界と、それ以外の世界を、切り離していけばいいのか、それとも融合していけばいいのか。ラジオはそのアイデンティティを問われる問題に直面していると思う。

若い人たちは特定のチャンネルやメディアには拘っていない。ある聴取者層においてはインターネットにすべての発信行動やより詳しい情報を求める探索行動を集約している。ただ、きっかけとなる番組や情報自体に魅力や面白みが無いと、それらの行動には結びつかない。

今回の番組には情報の希少性はあると思う。海外に住む一生活者の経験からくる情報は一般性が無いだけに希少性があると思う。希少性がある情報は若い人に好まれる。しかし、情報としての価値や面白さには欠け、平凡な印象を受ける。これは、一生活者が見ることのできる世界は限られているという部分で、突っ込みが足りないように感じる。複数の人を入れて情報を膨らませてみるのはどうだろうか。

また、聴取者と番組レポーターの関係を見定める必要がある。異質性と同一性の距離感・度合いを意識し、20代・30代の女性に好感を持たれるような見せ方について考えて欲しいと思った。

- 今の時代、海外情報はもはや一筋縄では面白くない。そんな中でこの企画に取り組んだことについては応援したいし、設定も大いに面白いと思う。ただ、一つ気になったことがある。例えば、ジャマイカでは女性が強いというコメントについて、そのように言われても、日本でも女性が弱いわけではないので、特別に驚かない。オランダのカフェで女性が一人で読書をする姿にしても、日

本では珍しいことではない。つまり、ちょっとありきたりなことを、大げさに珍しがってやらないで欲しいと思った。制作者には、これらのことは日本でもあることで、特別なことでは無いことを、きちんと認識して作って頂きたいと思った。取り上げた事象について、日本ではどうなのか？ということを常にきちっと把握して作って欲しい。例えば、私が驚くのは、ヨーロッパで老人の女性がきちっと正装して、上から下まで隙のない格好をして、カフェに1、2時間いること。いろいろと考えさせられる光景であると思う。どのような視点で事象を取り上げ、扱うかについて、もう少し考えて欲しいと思った。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

① 放 送：番組「MORNING SCHOOL」

9月23日(金) 5：00～6：00放送

② 書 面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット：TOKYO FM ホームページ内

<http://www.tf.co.jp>

7. その他

次回の審議会は10月4日（火）に開催することを決めた。

以 上